

2020年10月21日

プレスリリース

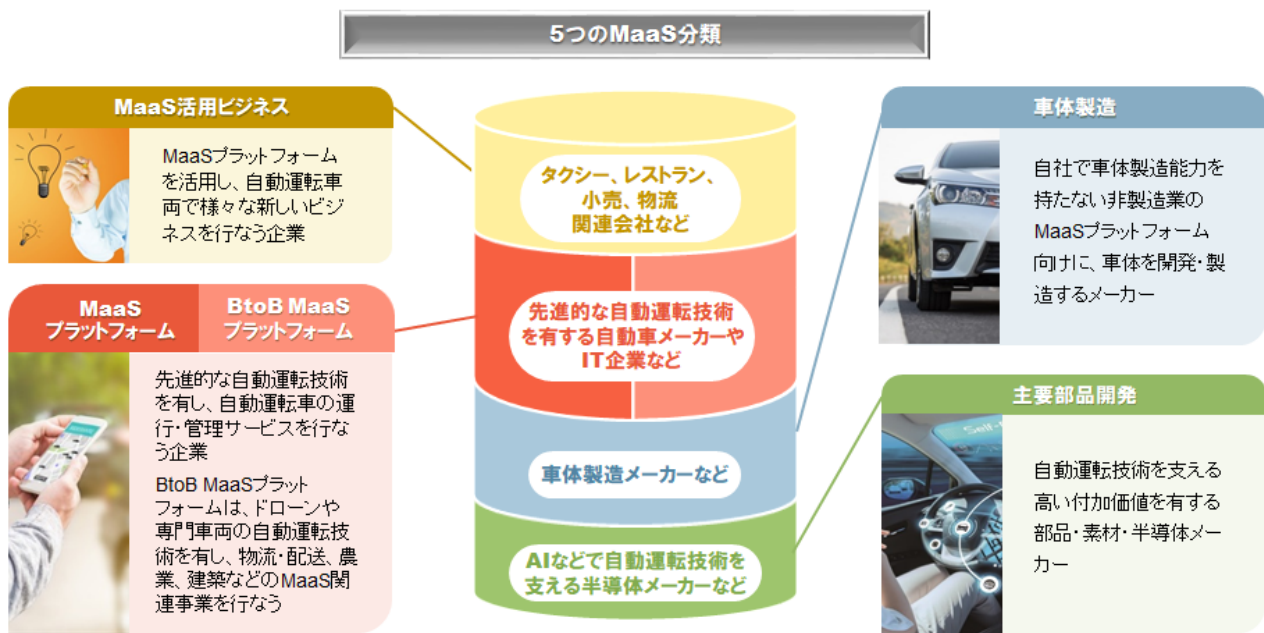
日興アセットマネジメント株式会社

「グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド(年2回決算型)」を設定

～ 大和証券が10月21日取り扱い開始 ～

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、主に世界のモビリティ・サービス関連企業(以下、MaaS 関連企業)の株式に投資する追加型投信「グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド(年2回決算型)」<愛称:グローバル MaaS(年2回決算型)>を10月21日に設定し、運用を開始しました。大和証券株式会社が同日から取り扱いを開始しました。

「MaaS(マース)」とは、「モビリティ・アズ・ア・サービス」(Mobility as a Service/サービスとしての移動)の略称で、バスや電車、タクシーなどあらゆる交通手段による移動を、スマートフォンなどのIT技術を用いて一つのサービスに統合し、交通手段やルート検索、運賃等の決済をシームレスにつなぐ概念です。MaaS関連企業には、移動手段として、自動車などの「モノ」を提供する企業や、ライドシェアリングのように「サービス」を提供する企業などがあります。昨今のコロナ禍においては、非接触ニーズの高まりや巣ごもり需要による無人配送サービスや感染予防を考慮した人々の移動サービスなど、自動運転技術を土台に生まれる新しいサービスの創出が期待されます。当ファンドでは、自動運転 MaaSプラットフォームへの転換を遂げられる自動車企業やテクノロジー企業などに投資します。



※写真はイメージです。

※上記は2020年7月末時点のMaaS分類であり、今後変更となる可能性があります。

日興アセットは、こうした世界の MaaS 関連企業の株式に投資するファンドとして、今回の新ファンドと同じ投資方針である「グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド(1年決算型)」を2018年1月末に設定し、堅調に運用実績を積み重ねています。同ファンドは2020年2月下旬から3月中旬にかけて、コロナショックの影響を受けて下落したものの、米電気自動車メーカーや大手小売サービスなど組入上位銘柄の好決算や、テクノロジーへの投資による今後のさらなる成長期待なども寄与し、基準価額の騰落率は設定来43.62%と、堅調なパフォーマンスを維持しています(2020年9月末時点)。

【グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド(1年決算型)】
基準価額と純資産総額の推移
(2018年1月31日(設定日)～2020年9月30日)



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。
※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

今回新たに運用を開始した「グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド(年2回決算型)」は、この「同(1年決算型)」と同じ投資方針を有し、かつ、決算を年2回行ない、基準価額水準が1万円(1万口当たり)を超えている場合には、分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます[※]。これにより、決算頻度や配分方針について選択肢を得たいという投資家のみなさまのニーズにお応えすることが可能となります。当ファンドの個別銘柄の選定においては、イノベーションにフォーカスした調査に強みを持つ、米国のアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシーの調査力を活用します。

日興アセットは、今後も、あらゆる市場環境の変化を迅速に捉え、お客様のニーズに沿った革新的なソリューションの提供および質の高い商品開発を目指します。

※基準価額の1万円超過額(1万口当たり)について全額分配をめざすものではありません。また、分配金額が少額となる場合があります。
※分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

以上

■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<直接的にご負担いただく費用>

- 購入時手数料： 購入時の基準価額に対し 3.3%(税抜 3%)以内
 ※購入時手数料(スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
- 換金手数料： ありません。
- 信託財産留保額： ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく費用>

- 運用管理費用(信託報酬)：ファンドの日々の純資産総額に対し年率 1.925%(税抜 1.75%)
- その他の費用・手数料：目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率 0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。
 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用や ETF（上場投資信託）を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

60 年に及ぶ実績を誇り、約 30 の国・地域から集まる人材を世界 11 国・地域に擁して、約 200 名^{*}の運用プロフェッショナルが約 25.5 兆円^{**}の資産を運用しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品の開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計 400 社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの [HP](#) をご覧ください。

* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高（投資助言を含む）の 2020 年 6 月末現在のデータ。

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 368 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会